

保証書

本書は保証期間内に本書記載内容で無料保証をおこなうこととお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービスセンターにご依頼ください。

※この保証書は販売店様の日付けの入ったレシートまたは領収書がなければ無効となります。

製品コード	KAYCM-010	製品名	多機能レコードプレーヤー CM-010
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より：1年間
お 客 様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号		
※販売店	住所・店名		
	電話番号		

当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、修理・交換後の製品発送のみ使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ ※印欄は必ず記入（もしくは押印）してください。

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料保証いたします。弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参・ご提示の上、弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には保証対象外になります。
 - 弊社「お客様サービスセンター」以外による分解・修理及び改造をおこなった場合
 - お客様の過失・不注意（使用上の誤り、製品をぶつけたり落下等による強い衝撃を与えるなど）による故障及び損傷
 - 取扱説明書に記載されている消耗部品が自然摩耗または自然劣化していることに起因して故障が発生した場合。
 - 火災・地震・その他の天災事変による故障及び損傷
 - 本書の掲示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 他人へ譲渡した場合
 - 正規販売ルート以外で購入した場合
- レンタルなどによる貸し出し、オークション等による転売・中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などに対して一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効となります。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

発売元 ライソン株式会社

〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2-1-33

お客様サービスセンター TEL 06-6789-1199
〔月～金（祝日除く）10時～16時〕

WEBからの修理・交換の
お問い合わせはこちら



LITHON

多機能レコードプレーヤー CM-010

家庭用

業務用として使用しないでください。

日本国内専用

電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

取扱説明書

もくじ

- 安全にお使いいただくために… P.2
- セット内容・各部名称 …… P.3
- ご使用方法 …… P.4、5
- レコード針の交換方法 …… P.6
- お手入れ方法 …… P.6
- 故障かな？と思ったら… P.7
- テクニカルデータ …… P.7



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

（2025年6月 改訂）

安全にお使いいただくために

ご使用の前に必ずお読みください。

- 本製品は家庭用製品です。業務用ではありません。
- 本製品は電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。
- この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためにお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

警告

この表示は、内容を見逃し間違った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険性の高い内容を示しています。

- 使用中、電源プラグや電源コードが異常に熱くなったり、本体から煙や異常なおいが出るようなときは、ただちに使用を中止して、弊社お客様サービスセンターにお問い合わせください。
*傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。感電、ショート、発火の原因になります。
- 分解・改造は絶対にしないでください。*感電、ショート、発火の原因になります。
- 交流100V、定格15A以上で使用してください。(交流100V以外では使用しないでください。)
*火災、感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントに正しくしっかりと奥まで差し込んでください。*感電、ショート、発火の原因になります。
- コンセント部分に水やほこりなどがつかないようにしてください。*感電、ショートの可能性があります。
- 水気を帯びた手で使用しないでください。*感電、火傷の原因になります。
- 本製品を雨や湿気にさらさないでください。*感電、ショート、発火の原因になります。
- 電源コードに対して以下の行為はしないでください。
・曲げる ・ねじる ・引っ張る ・束ねたまま使用する ・何かを上に載せる ・加工する *感電、ショート、発火の原因になります。
- 強い衝撃を与えないでください。*感電、製品故障・火災の原因になります。
- 子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところに置かないでください。*火傷、感電、ケガの原因になります。

注意

この表示は、内容を見逃すと対人的に障害を負ったり、対物的に損害の発生が想定される内容を示しています。

- 不安定な場所で使用しないでください。*ケガ、製品故障の原因になります。
- 足に引っかかりやすい場所に電源コードを引っ張らないでください。*ケガ、製品故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、高温多湿、暖房器具の近く、ほこりの多い場所に置かないでください。*製品故障の原因になります。
- 火気に近付けないでください。*製品の変形、故障の原因になります。
- お手入れにベンジン、シンナー系の溶剤は使用しないでください。*製品の変色、変形、故障の原因になります。
- 使用後の保管は、お子様の手の届く場所で保管しないでください。*思わぬ事故、ケガの原因になります。
- 誤った使用方法で取り扱わないでください。

※誤った使用方法で発生するすべての事柄に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

セット内容・各部名称

● 本体

正面



天 面

- ①ダストカバー
- ②ターンテーブル
- ③スピンドル
- ④EP盤用アダプター
- ⑤トーンアーム
- ⑥アームホルダー
- ⑦昇降レバー
- ⑧オートストップスイッチ
- ⑨回転数切替スイッチ
- ⑩ヘッドシェル／カートリッジ
- ⑪電源ランプ
- ⑫電源／音量ダイヤル
- ⑬選局ダイヤル
- ⑭モード切替ダイヤル
- ⑮スピーカー

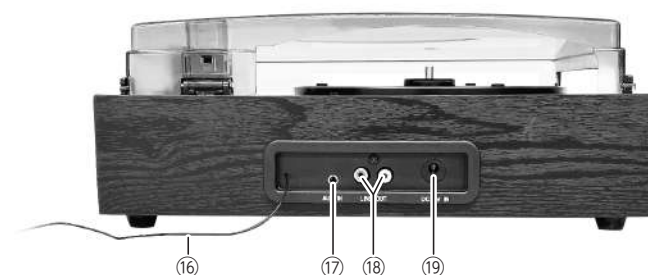
背 面

- ⑯FMアンテナ線
- ⑰外部入力端子 (AUX IN)
- ⑱音声出力端子 (LINE OUT)
- ⑲DC入力端子 (DC 9V IN)

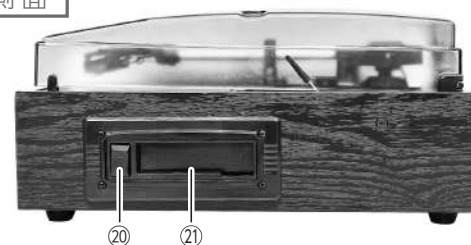
左 側 面

- ⑳早送り／取り出しボタン
- ㉑カセットテープ挿入口

背 面



左 側 面



●電源アダプター



■消耗部品

※下記に記載されているのは消耗部品です。自然摩耗または自然劣化していることに起因して故障が発生した場合、保証の対象外となります。

- レコード針 (カートリッジ内)

ご使用方法

本製品にはステレオスピーカーが内蔵されています。
他のオーディオ機器に接続することなく、本製品のみでレコード・カセットテープ・ラジオを聴くことができます。

ご使用前の準備

付属の電源アダプター先端のプラグを、本体背面のDC入力端子 (DC 9V IN) に差し込み、アダプターをコンセントに差し込んでください。

基本的な操作

①電源のON / OFF

『電源／音量ダイヤル』を時計回りにまわすと、「カチッ」と音が鳴って電源が入ります。
『電源／音量ダイヤル』を反時計回りにまわすと、「カチッ」と音が鳴って電源が切れます。

②音量のアップ/ダウン

電源が入っている状態で『電源／音量ダイヤル』を時計回りにまわすと、音量が大きくなります。回らなくなったところが最大音量 (MAX) です。
電源が入っている状態で『電源／音量ダイヤル』を反時計回りにまわすと、音量が小さくなります。

③モードの切り替え

『モード切替ダイヤル』で、「レコードプレーヤー (RECORD) / カセットテープ (TAPE)」、「FMラジオ (FM)」、「AMラジオ (AM)」に切り替えることができます。

レコードプレーヤーの使い方

『モード切替ダイヤル』を「RECORD / TAPE」に合わせてください。

①『カートリッジ』のプロテクターを外す



下方向に力が加わると、針部分が外れてしまう場合があります。外れかけたり、外れてしまった場合は付け直してください。(P.6の「レコード針の交換方法」を参照)

②『ターンテーブル』にレコード盤を載せる



※EP盤の演奏時は、「EP盤用アダプター」を『スピンドル』にはめ込んでください。

③回転数を合わせる



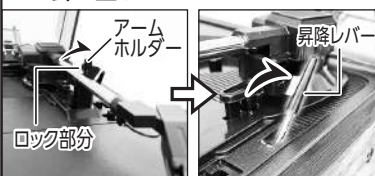
『回転数切替スイッチ』をレコード盤に合わせて33/45/78回転に切り替えてください。

④『電源／音量ダイヤル』を回す



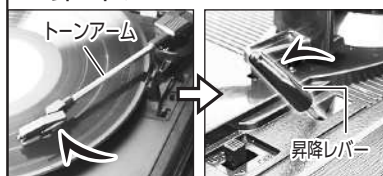
『電源／音量ダイヤル』を回すと『ターンテーブル』が回りだします。
※『オートストップ切替スイッチ』が「ON」の時は『トーンアーム』を「ターンテーブル」に近づけるまで動きません。

⑤『トーンアーム』のロックを解除し、針を上げる



『アームホルダー』のロック部分を上図の矢印方向にずらして解除し、『昇降レバー』を奥側に倒して針部分を持ち上げます。

⑥針先をレコード盤に移動させて、針を下げる



レコード盤の聴きたい場所に『トーンアーム』を移動させ、『昇降レバー』を手前に倒すと針部分がゆっくり降りて、演奏が始まります。

【オートストップ機能】

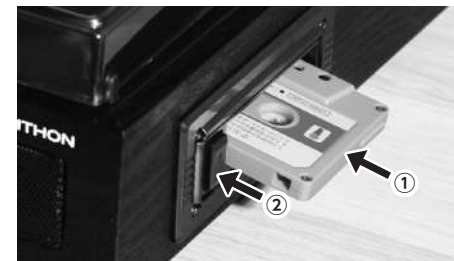
『オートストップスイッチ』を「ON」にすると、レコード演奏終了後に自動で回転が止まります。また、『トーンアーム』を「アームホルダー」に近づけると自動で『ターンテーブル』が止まります。『オートストップスイッチ』が「OFF」状態のときは、電源が入っている間、『ターンテーブル』は回転し続けます。

※レコード盤によってはオートストップ機能が正常に働かない(演奏途中で止まったり、演奏終了後に止まらなかったりする)場合があります。その場合は『オートストップスイッチ』を「OFF」にしてください。また、レコード盤の傷や汚れ、針先の汚れや正しくはまっていないなどが原因でオートストップ機能が正常に働かないことがあります。ご注意ください。

- 本製品はDJ用ではありません。演奏中、『ターンテーブル』には触れないでください。
- 使用後は、レコード盤のソリや傷つきを防止するため、レコード盤をのせたままにしないでください。

カセットテープの使い方

『モード切替ダイヤル』を「RECORD / TAPE」に合わせて、電源を入れてください。



- ①カセットテープの挿入口へ、聴きたい面を上にして斜め上に押し入れてください。自動的に音楽が再生されます。【左図】
- ②挿入口のすぐ横にある『取り出し/早送りボタン』を押すとテープが早送りされます。奥まで強く押し込むとテープを取り出すことができます。【左図】

！テープを挿入する前にゆるんでいないか確認してください。ゆるんでいる場合はゆるみをなくしてからご使用ください。ゆるんだまま使用すると故障の原因となります。

ラジオの使い方

『モード切替ダイヤル』を「FM」もしくは「AM」の聴きたいバンドに合わせて、電源を入れてください。



- ①『選局ダイヤル』を回して、聴きたいラジオ局(周波数)に合わせてください。【左図】
- ②FMラジオ放送を聴く場合、本体背面のFMアンテナ線を受信しやすい方に向けて、テープなどで固定してください。【右図】

AMラジオ放送を聴く場合、本体内部のバーアンテナで受信するので、本体の位置・向き・高さなどを変えて調整してください。(AMラジオの場合、背面のアンテナ線で受信状態は変わりません。)

！AMラジオが聴きづらい場合はワイドFMでお聴きください。
本製品はワイドFM対応ラジオです。同じ放送内容をFMで聴くことができます。
各地域の対応放送は新聞または総務省のホームページでご覧ください。

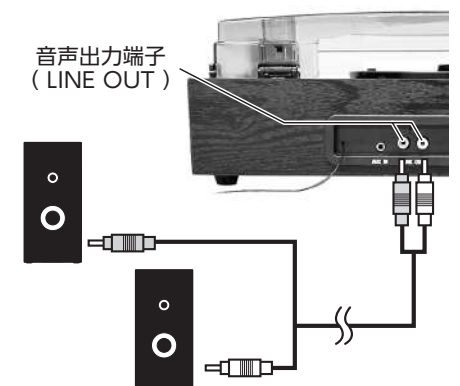
！●FMアンテナ線を外部アンテナに接続しないでください。

外部スピーカーでの聴き方

本製品の音声をアンプ内蔵のスピーカーシステムやステレオコンボなどに出力することができます。

本体背面の『音声出力端子 (LINE OUT)』に別売りのピンコードで外部スピーカーの音声入力端子と接続します。【右図】

※外部スピーカーに接続しているとき、本製品のスピーカーからと外部スピーカーの両方から音声が聴こえます。
※本製品の音量のダイヤルは、本製品のスピーカーからの出力のみを調整します。外部スピーカーの音量調節は外部スピーカー側でおこなってください。

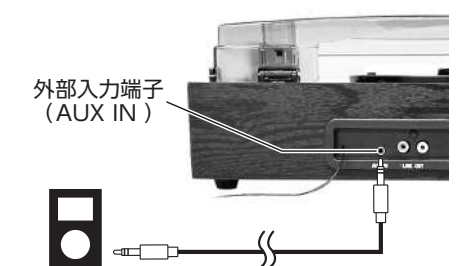


外部オーディオ機器の聴き方

本製品に音楽プレーヤーの音を入力して聴くことができます。

本体背面の『外部入力端子 (AUX IN)』に別売りのオーディオケーブルで音楽プレーヤーの音声出力端子と接続します。【右図】

※本製品の音量のダイヤルは、本製品のスピーカーからの出力のみを調整します。音楽プレーヤーの音量調節はプレーヤー側でおこなってください。



レコード針の交換方法

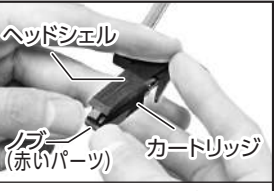
カートリッジの針先が摩消すると音質が悪くなり、さらにレコード盤に傷をつける原因になります。
約190時間の演奏時間を目安に交換してください。

!

交換作業をおこなう際は、『ヘッドシェル』と『カートリッジ』をしっかりと持ちください。

- 針先を指で触れたり、衝撃を与えないでください。
- お客様の不注意及び外部要因による針折れなどは、保証対象外となります。

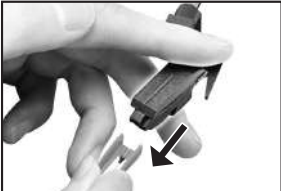
【取り外し方】



ヘッドシェル
ノブ
(赤いパーツ)
カートリッジ



ノブ底面の奥側を支点にするようにしてノブ先端の両角を押し下げます。



カートリッジから前方が外れたノブを、斜め下へ引っ張って外します。

【取り付け方】



ノブ後部の尖った部分を、カートリッジのくぼみに斜め下から差し込みます。



差し込み部分を支点にして、「カチッ」と音がするまでノブ先端部を上方向に押してください。

専用交換針 (1本入)
製品コード : KAYNL-010B

ご注文はコチラから
<https://lithon-store.com/c/all/option/kaynl010b>



お手入れ方法

【キャビネット・操作部のお手入れ】

キャビネットや操作部が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。

【レコード盤のお手入れ】

レコード盤にほこりやゴミが付着すると、音飛びや雑音の原因となりますので、市販のクリーニングキットなどでお手入れすることをおすすめします。
お手入れする際は、レコード盤の溝に沿って弧を描くようにおこなってください。

!

●本製品に揮発性化学物質(殺虫剤など)は使用しないでください。

故障かな？と思ったら

■修理を依頼される前にご確認ください

- 下記の場合、故障ではなく再確認いただくことで、問題が解消する場合があります。
- それでも問題が解消しない場合はただちに使用を中止し、コンセントから電源アダプターを抜いてください。安全を確認したうえで弊社「お客様サービスセンター」にご相談ください。
- ご家庭での修理、分解は絶対におこなわないでください。

問題事例		再確認するところ	問題解消の方法
電源が入らない		電源アダプターがコンセントに差し込まれていますか？	電源アダプターをコンセントに正しく差し込んでください。
レコードプレーヤー	音が出ない	『モード切替ダイヤル』は「RECORD / TAPE」に合っていますか？	『モード切替ダイヤル』を「RECORD / TAPE」に合わせてください。
		『カートリッジ』の針先がきちんとはまっていますか？	針先をしっかりとはめ込んでください。 (P.6 [レコード針の交換方法] を参照)
	音程がおかしい	レコード盤にあった回転速度になっていますか？	レコード盤にあった回転速度を選んでください。
	雑音が出る	レコード盤にほこりやゴミが付着していませんか？	レコード盤をレコードクリーナーなどできれいにしてください。
		レコード盤に傷やソリがありませんか？	傷やソリのないレコード盤をご使用ください。
	『トーンアーム』が飛ぶ または前進しない	『カートリッジ』の針先にほこりやゴミが付着していませんか？	針先をクリーナーなどできれいにしてください。
		本製品の設置場所は水平ですか？	本製品を水平な場所に設置し直してください。
カセット	音が出ない	レコード盤が非常に汚れていたり大きな傷がついていませんか？	レコード盤をクリーナーなどできれいにするか、傷のないレコード盤に交換してください。
ラジオ	音が出ない	『モード切替ダイヤル』は「RECORD / TAPE」に合っていますか？	『モード切替ダイヤル』を「RECORD / TAPE」に合わせてください。
	雑音が出る	受信しやすい方向に本体の位置やアンテナ線を調整しましたか？	『モード切替ダイヤル』をFMもしくはAMの聴きたいバンドに合わせてください。 (P.5 [ラジオの使い方] ②を参照)

テクニカルデータ

スピーカー		カセット	
型 式	ステレオスピーカー 密閉型	機 能	挿入自動再生、早送り、取出し ※再生専用
スピーカー口径	約 40 X 70 mm	その他	
最大出力	3W X 2	外部入力端子	3.5mmステレオミニジャック
インピーダンス	8Ω	外部出力端子	RCA端子
レコードプレーヤー		使用温度範囲	5 ~ 35℃
駆動方式	ベルトドライブ	外形寸法	約 W 324 × D 285 × H 130 mm
回転数	33 / 45 / 78 回転	質量	約 2.2 kg
ラジオ		付属品	EP版用アダプター、電源アダプター
周波数	AM: 522 ~ 1620 kHz FM: 76 ~ 108 MHz (ワイドFM対応)	※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。	
チューニング方式	アナログチューニング方式		